

## 【支部総会報告】

## 2020年度 兵庫支部総会

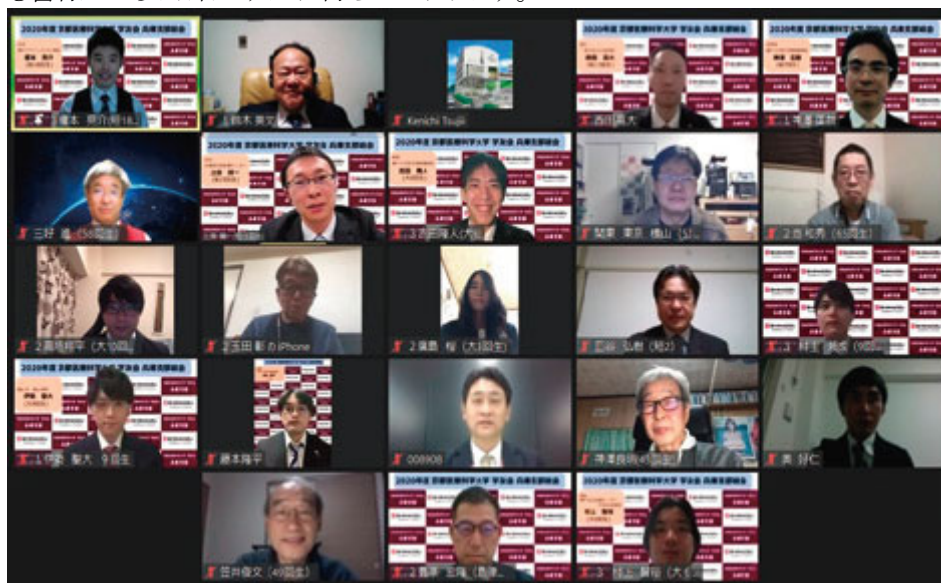
通信員 吉田 隆人(大6回生)

2月13日に2020年度近畿地区合同学友会 兵庫支部総会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮してZoomを用いたWeb開催となりましたが、学術講演としてメーカー講演3社・基礎講演2演題・特別講演1演題、その後支部総会も行われ、例年通りの充実した内容となりました。Web開催の特性を活かし、全国から参加を募ったところ全国各支部および学生など合わせて90名の申込がありました。

学術講演は、総合司会の辻居賢一氏(短15回生)、座長の藤本隆平氏(大5回生)と西田高大氏(短13回生)の進行にて行われました。まず、メーカー情報提供として3社に講演していただきました。日本ベクトン・ディッキンソン株式会社の枝川哲正氏からは「PICCの適正な使用について」と題して、造影CTなどでPICCを使用する際の注意点や他社製品との比較などについてご講演いただきました。日本メジフィジックス株式会社の兼松 昂氏からは「SPECT検査の活用」と題して、認知症領域におけるSPECT検査の基礎から解析ソフトについてなど多岐にわたりご講演いただきました。島津製作所の前田誠治氏からは「島津血管撮影システムTriniasのPCI支援ソフトウェアのご紹介」と題して、血管撮影装置およびソフトウェアの紹介と実臨床における活用方法などについてご講演いただきました。次に基礎講演として、吉田隆人(大6回生)から「いま一度見直そう『一般撮影』」と題して膝関節についてローゼンバーク法を中心とした講演を行いました。高妻武史氏(短2回生)からは「当院のCT検査」と題して、当直時によく遭遇する症例について検査の流れや造影理論など臨床画像を用いて解説いただきました。また、COVID-19の症例についても臨床画像を用いて解説していただき、非常に内容の濃い講演でありました。特別講演は山村 憲一郎氏(61回生)より「MRI検査で気をつけたいこと」と題し、MRI検査を行うにあたって知っておくべき安全性に関する内容や各シーケンスについてご講演いただきました。基礎的な内容からシーケンスの深い解説まで様々な内容が盛り込まれ、非常に勉強になる講演でした。

学術講演の後には支部総会が行われ、兵庫支部会員の他支部の支部長や大学関係者にもご参加いただきました。神澤匡数兵庫支部長(短7回生)の挨拶に続き、玉田 彰会長(53回生)にご挨拶いただきました。遠藤啓吾学長からビデオメッセージを頂き、鈴木英文事務局長から大学の近況報告をしていただきました。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今回は全国から幅広い年齢層の卒業生が参加し、活発な質疑応答も行われたことを非常に嬉しく思っております。来年以降の開催方式は未定ですが、現地開催とWeb開催のそれぞれのメリットを踏まえて、今後、兵庫支部役員にて協議を重ねていこうと思います。来年も皆様のご参加楽しみにお待ちしております。



以上